

令和4年度 宇美東中学校学校運営協議会(第3回)

2月10日(金)に本校視聴覚室にて第3回学校運営協議会を開催しました。

中村学園大学教育学部准教授 岡田充弘様、校区自治会長、桜原コミュニティ青少年育成部、民生委員、PTA会長、保護者OB、校区小学校の教頭先生にお越しいただき、本校の今年度の学校運営についての報告と協議を行いました。

当日は、授業の様子を参観していただき、その後、本校職員から今年度の学校運営に関しての成果と課題の報告を行いました。協議会では、本校の取組についてご意見をいただき、次年度の学力向上の取組、地域や小学校との連携についてご指導いただきました。



参観の様子

宇美東中学校学校評価

3.2以上：A 2.8以上：B 2.4未満：C

学校評価(大項目)	1学期(7月)		2学期(1月)	
	東中生がめざす姿	2.8	B	2.9
確かな学力の育成	3.1	B	3.3	A
共感的人間関係のある集団づくり	3.2	A	3.4	A
教育環境・健康安全	3.2	A	3.4	A
教育公務員としての姿勢	3.7	A	3.8	A
校務の整理	3.3	A	3.5	A

東中マスコットキャラクター



ひがくすくん

東中マスコットキャラクター



ひぐなちゃん

前期評価では、6つの項目中4つの項目でA評価でしたが、「東中生がめざす姿」「確かな学力の育成」がB評価でした。後期評価では、すべての項目において数値の上昇がみられ、5つの項目がA評価になりました。しかし、「東中生がめざす姿」に関しては、数値の上昇はみられますが、B評価のままです。数値が低い項目に関しては、取組の主体である学年や委員会等で分析を行い、来年度の指導計画に生かしていきたいと思えます。

(いただいた主な意見)

- 学習意欲を向上させようとする取組は良かった。
- HSR(東スタディールーム)の実施はとても効果的だったと感じる。
- 教師による授業の資料提示、事務業務でのICT利活用、生徒による資料収集、情報発信、情報共有、反復学習(ドリル等)、資料作成など、多くのICT活用の事例が蓄積されていくと、アイデアが生まれやすくなると思う。
- 生徒会主体で取り組んでおり、学級でも人間関係づくりが重視されていてよい。
- 取組の成果が数値で表れており、新たな不登校生を生まない取組が行われていると感じた。
- 見守りボランティアとして、登校中の子ども達への声かけを私も続けていきます。
- 職能の向上という観点では、現場でのOJTが求められる。部会の持ち方が大切で、これは、町内、郡内で共同実施という方が、効率的だと思う。
- 教師間の連携や、相互評価、相談、支援等を行う会議や研修計画的に実施されており、学力向上につながると思うのでいいと思う。
- 学校評価は、ほとんどの項目が上昇しているので、とても素晴らしい。過去と比較しても、現在の生徒の行動や姿は立派に向上している。
- 登下校時の挨拶が多くなった。指導の成果が少しずつ出ていると思う。

多くのご意見いただきました。次年度の学校運営や授業改善へつなげ、社会性を身につけた生徒の育成を目指して、全職員で取り組んで参ります。